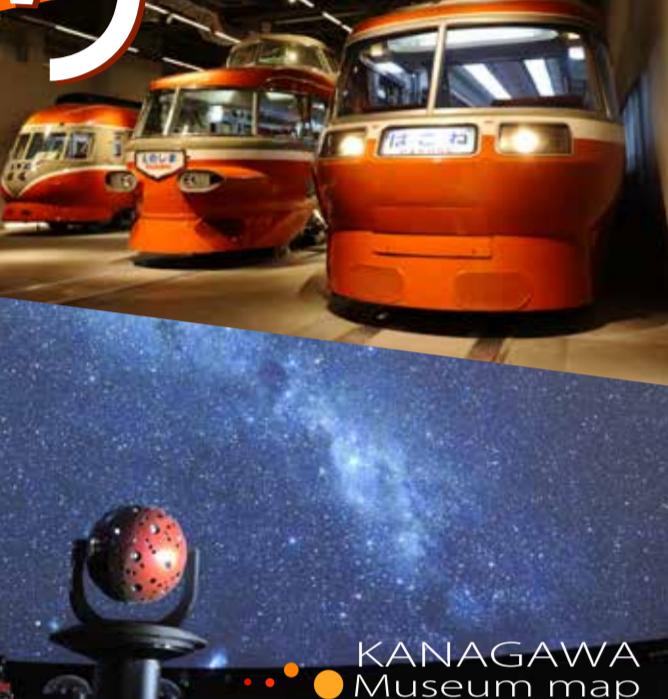


川崎・三浦・県央 特集記事



かながわ ミュージアムマップ 2021-2022 川崎・三浦・県央特集



神奈川県博物館協会

神奈川県内で活動する博物館が、相互の連絡をはかり、博物館活動の振興に努め、また学術文化の進展に寄与することを目的として設立しました。現在は歴史館、美術館、科学館、水族館、動物園、植物園など96館園の加盟で活動しています。

活動の主な内容

1. 博物館相互の連絡と連携、情報交換
2. 博物館事業に関する調査研究
3. 研究会、研修会、映画会等の開催
4. 閲覧券の発行
5. 共同事業の企画、促進

2021発行の「ぐるりかながわミュージアムマップ」では川崎・三浦・県央地域の特集記事を掲載しております。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開館時間の短縮や臨時閉館等、掲載情報とは異なる場合がございます。お出かけ前には各館へご確認をお願い致します。



重要な文化財となった鎌倉文華館 鶴岡ミュージアムの夜景（旧神奈川県立近代美術館）

表紙の写真は
上：三笠公園内に建つ東郷平八郎の銅像と三笠（記念艦三笠）

中：時代を彩った車両が並ぶロマンスカーギャラリー（ロマンスカーミュージアム）

下：プラネタリウム投影機 MEGASTAR-III FUSION（かながわ宇宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館））

発行：神奈川県博物館協会

〒231-0006

横浜市中区南仲通5-60 神奈川県立歴史博物館内

TEL:045-201-0926 FAX:045-201-7364

E-mail: kanagawa-kenpakucho@dolphin.ocn.ne.jp

QRコード

twitter.com/kngw_kenpakucho

2021年11月20日発行

印刷：(株) TAKT-JAPAN

川崎

35 川崎市立日本民家園 民家の歴史を体感できる野外博物館

戸時代の民家、水車小屋、歌舞伎舞台など25件の文化財建造物を移築した野外博物館です。民家の基礎知識が学べる常設展示のほか、テーマを設けた企画展示を年2回開催。四季折々の年中行事展示や、暮らしや建築の観点から解説を行う「古民家めぐり」、生活で使われていた民具を作る「民具製作体験講座」などの催しも行っています。展示や体験などを通じて、民家や昔の暮らしに触れることができますほか、園内施設でできる染ぬめ体験も人気です。

36 若宮八幡宮郷土資料室 かつて大師でも海苔がとれていた

川崎大師駅南口より徒歩3分という交通の便の良い所に当資料館があります。かつてこの大師地区では海苔漁が盛んに行われていました。その歴史を知ることのできる写真や道具、また当時の暮らしや道具を同様の生活用品などが展示されています。もう一つの特徴は、金山神社に関する鉄・石仏についての書物や、様々な時代・地域の民芸品などの資料が多数収集され、展示されています。

37 明治大学平和教育登戸研究所資料館 「秘密戦」を学べる唯一の資料館

当館は、明治大学生田キャンパス内にある、戦時に登戸研究所が行ったことがらを展示する資料館です。登戸研究所とは、戦前に旧日本陸軍がこの地に設置した広大な研究所で、風船爆弾・偽札・毒物などの「秘密戦兵器」を研究開発していました。登戸研究所が実際に用いていた研究棟を保存・活用しているため、資料館の建物そのものが当時の面影を伝えます。また、キャンパス内では、研究所時代から残る倉庫跡や動物慰霊碑、陸軍の消火栓などの戦争遺跡も見学できます。

38 川崎市市民ミュージアム 国内初、漫画を収集した複合文化施設

川崎の成り立ちと歩みを考古、歴史、民俗などの豊富な資料で紹介する博物館と、都市に集まる人々の刺激から生み出されたポスター、写真、漫画、映画、映像など、近現代の表現を中心紹介する美術館との、2つの側面から収集された多彩なコレクションと、独自性のある企画が館の特色です。

令和元年東日本台風の被害により、施設は休館していますが、アウトドアによる展示や教育普及、オンラインによるミュージアムショップなどの事業を継続しながら、被災収容品のレスキュー活動を行っています。

39 電車とバスの博物館 みんなが楽しめる、体感型ミュージアム

東急線の旧型車両やバスの展示、HOゲージの模型が走る「パノラマシアター」、お子さまでも運転ができる「東横線CGシミュレーター」、プロ仕様の「8090系シミュレーター」、Nゲージの模型レンタルもある「Nゲージパーク」、昭和40年代に活躍したバスの運転シミュレーターもあり、映像を見ながら運転体験もできます。

40 かながわ宇宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館） 毎月変わる生解説のプラネタリウム投影

緑豊かな生田緑地内にある自然科学系博物館です。展示室は、川崎の大地、丘陵の自然、生田緑地ギャラリー、街の自然、多摩川の自然と5つのコーナーで展開するほか、天文展示、科学工作展示があり、自然観察会、天体観測会、科学実験教室などの体験学習イベントも楽しめます。一番のおすすめは、世界で当館に1台しかないプラネタリウム機「MEGASTAR-III FUSION」を駆使した世界最高水準の星空投影です。毎月変わるオリジナル番組の生解説による投影をお楽しみください。

41 川崎市岡本太郎美術館 五感で楽しむ「体験型美術館」

川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎の芸術を堪能できる岡本太郎美術館では、年間を通じ様々な展覧会を開催しています。常設展示では、岡本太郎作品をはじめその両親である一平・かの子の芸術を多様な視点で紹介する展覧会を、企画展示では「岡本太郎とその周辺作家や時代との関係性」をテーマにした展示や次世代を担う作家の発掘を目的とした「岡本太郎現代芸術賞」入選作家による展示を開催しています。また、展覧会や季節に絡めた様々なイベントも開催しています。

42 川崎市平和館 平和への理解を深める資料館

平和であるというのは、どういうことでしょうか？平和館では戦争だけでなく、貧困や差別など、平和な生活を豊かにする多様な要素を展示し、来館者の皆様に色々な意味での平和について考えていただけるようにしています。1階の屋内広場では、川崎空襲記録展（3～5月）、原爆展・特別展（8月）、企画展・ミニ企画展（6、11、1月）を開催しています。2階の常設展示では、様々な平和問題をより深く理解していただけるように、音声ガイドや子どもたち向けのオリエンテーリングシートも用意しています。

川崎

35 川崎市立日本民家園 民家の歴史を体感できる野外博物館

建物の改築に伴い、惜しまれながら閉館いたしましたが、現在は川崎市が作られ、川崎市文化財団が運営する、京浜間唯一の浮世絵展示場の「川崎浮世絵ギャラリー」で展示

内筆画から近代版画まで5000余点のコレクションから、弊館が毎月企画立案した展覧会を開催し、多くの方々にご来館頂いています。

43 (公社) 川崎・砂子の里資料館 川崎浮世絵ギャラリーで展示

建物の改築に伴い、惜しまれながら閉館いたしましたが、現在は川崎市が作られ、川崎市文化財団が運営する、京浜間唯一の浮世絵展示場の「川崎浮世絵ギャラリー」で毎月無償で貸出しております。

内筆画から近代版画まで5000余点のコレクションから、弊館が毎月企画立案した展覧会を開催し、多くの方々にご来館頂いています。

44 鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム

2019年「神奈川県立近代美術館 鎌倉館」の建物を引き継いだ鶴岡八幡宮により、耐震工事を経て「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」として開館しました。建物は坂岸準三氏による貴重な建造物として2020年の重要文化財に指定を受けました。当館は鶴岡八幡宮の境内という立地を生かし、八幡宮をはじめとする鎌倉の魅力を発信しています。ミュージアムショップは入館料なしで利用可能で、敷地内には2010年に倒壊した大銀杏の一部が身近に御覧いただけた「ミュージアムカフェ&ショップ」も併設されています。

45 観音ミュージアム 体感・発見！観音さまのひみつ

長谷觀音の名で親しまれる鎌倉長谷寺。本尊の十一面觀音像は国内屈指の巨像であるとともに、造像から1300年を経た靈像として知られます。同時に伝世する数々の宝を公開するため1980年に開設された長谷寺宝物館は、2015年に觀音ミュージアムとして新生しました。当館では重要文化財2件を含む指定文化財の常設展示とともに、觀音信仰にまつわる様々な企画を通じ、觀音菩薩の歴史や美術に親しんでいただけます。

46 記念艦三笠 歴史を語り継ぐ船の上のミュージアム

「三笠」は、東郷平八郎司令官率いる連合艦隊の旗艦として、1905年5月、対馬沖にロシアのバルチック艦隊を迎撃し、世界海戦史上稀な大勝利を収めました。東郷司令官が戦闘の指揮をとった最上甲板に登れば、バルチック艦隊を迎撃したときの情景があります。艦内は歴史博物館として貴重な歴史資料を展示している他、VRやシミュレーターなどの最新技術で、歴史を見て・触れて・体験することができます。

47-1 横須賀市自然・人文博物館 三浦半島の自然と歴史を学ぶ博物館

自然館入口ではナウマン象の全身骨格模型がみんなさまをお迎えし、三浦半島でみられる動植物や昆虫、魚類などの標本や生態写真、地形などを展示しています。珍しい標本コーナーや森林のジオラマもあります。人文館では「三浦半島における住みついこころ」から近現代までの幅広い歴史を、土器や埴輪、漁撈用具、近代の幕開けでもあるペリカンの模型が走る「パノラマシアター」、昭和40年代に活躍したバスの運転シミュレーターもあり、映像を見ながら運転体験もできます。

47-2 馬堀自然教育園 残したい三浦半島の丘陵と水辺の自然

馬堀自然教育園は三浦半島の水辺や山林の動植物を保全しています。園内にはため池や水路のほか旧陸軍時代の建物もあり、一周約20分の観察路が整備されています。（動植物の持ち帰りはできません）学習棟ではそれらに関連する展示も行っています。初夏には、馬堀自然教育園は多くの鳥や昆蟲、魚類などの標本や生態写真、地形などを展示しています。珍しい標本コーナーや森林のジオラマもあります。人文館では「三浦半島における住みついこころ」から近現代までの幅広い歴史を、土器や埴輪、漁撈用具、近代の幕開けでもあるペリカンの模型が走る「パノラマシアター」、昭和40年代に活躍したバスの運転シミュレーターもあり、映像を見ながら運転体験もできます。

47-3 天神島臨海自然教育園 残したい三浦半島の海岸の自然

天神島にはスカシユリ、ハマボウなど多くの海岸植物が育ち、海岸や周囲の海には多種多様な海洋動物がいます。（動植物の持ち帰りはできません）特に、自生するハマボウ（ハマボウ）は自然分布の北限地として1953年に神奈川県の天然記念物に指定されています。隣接するビーグルセンターではそれらの標本を展示しているほか、自然教育園では自然観察会やガイツアーラーなどの行事も開催しております。富士山や伊豆半島の山並みを一望できる景勝地でもあります。

48 観音崎自然博物館 自然とふれあう生まれた博物館

東京湾集水域の「リアルな自然と生態」をテーマとして、観音崎にある海藻・季節の花々・草木・木本・磯の生物・昆虫・両生類・爬虫類などを展示しています。観覧者は、生物やその行動を見るだけでなく、香りを嗅いだり、触ったりと人間の感覚を全て使って「リアルな自然と生態」を体験できます。特にタッチピールでは海の生き物に触ることができます。さらに、希少な海岸植物や水生生物も見ることができます。ぜひ、「リアルな自然と生態」を感じてください。

49 神奈川県立大船フラワーセンター リニューアルした大船フラワーセンター

神奈川県内の観賞植物の生産振興と花卉園芸の普及のため、昭和37年に神奈川農業試験場の跡地に開設されました。改修工事のため一時閉園しておりましたが、2018年4月1日にリニューアルオープンし、新たな魅力を提供しています。こうした植物は現在では3,000品種余りとなり、四季折々の彩りを演出しています。

50 葉山しおさい博物館 相模湾の海洋生物を学ぶ博物館

1987年に昭和発祥の地として歴史に残る葉山御用邸跡地に開設した葉山しおさい博物館は、相模湾の海洋生物を通じて三浦半島沿岸の自然について学べる博物館です。昭和天皇が研究用にいたヒドロ虫類を中心とした28点の昭和天皇御下賜標本をはじめ、1960-70年代に採集された藻類標本などから、相模湾の多様な生物相の変遷を学ぶこともできます。また、四季折々の花と日本庭園を併設しています。

51 山口蓬春記念館 趣きのある美術館と日本庭園

日本画家・山口蓬春の作品をはじめ、研鑽の懇ねる素描、模写などのほか、蓬春が長年にわたり収集した古美術品の数々を、年間5回の展示替りを通じてご覧いただけます。また、蓬春が数々の名作を生みだした画室等は、数寄屋造りの名匠・吉田五十八が設計、当時のままの状態で保存し、四季折々の草木が彩る庭園とともにお楽しみいただけます。

52 逗子市池子遺跡群資料館 池子の森自然公園内にある資料館

池子遺跡群資料館では池子遺跡群で出土した旧石器時代から近代にわたる資料を展示しています。なかでも県重要文化財に指定されている弥生時代の河道跡から発見された農具などの木製品は見どころです。他にも約440万年前のシロウリガメ類化石や神奈川県最大級の前方後円墳、長柄桜山古墳群から出土した埴輪も展示しています。

53 鎌倉宮宝物殿 明治天皇行在所を改築した宝物殿

鎌倉宮宝物殿は、明治6年（1873）の明治天皇御親御の際に行在所とされた建物を利用しています。ご祭神・護良親王の生涯を描いた絵画「護良親王一代記」をはじめ、親王所用とされる直垂や、「護良親王馬上像」など御祭神ゆかりの品、また横須賀鎮守府より奉納された海軍軍人の書などを展示しています。

54 鎌倉国宝館 鎌倉の至宝を間に見に見られる博物館

鎌倉国宝館は、1923年の関東大震災で地域の文化財が失われた経験のもと、不時の大震災から繋がある文化遺産を保護する使命を担い、鎌倉市域に所在する寺社から多数の宝物の寄託を受け、1928年に開館しました。設立時からの建物である本館は、国の登録有形文化財になっています。彫刻、絵画や古文書など、国宝や重要文化財はじめ約1,000件5,000点にのぼる作品を保管・展示しています。彫刻展示場では、ガラスケース用いない露出し展示により、仏像の生の迫力を味わうことができます。

川崎

47-4 ヴェルニー記念館 横須賀製鉄所があった場所で体験学習

ヴェルニー記念館は、横須賀製鉄所の首長として日本の近代化の基礎を築きあげたフランス人・ヴェルニーの功績と意義を伝える体験学習施設です。横須賀製鉄所で使われていたスチームハンマー2台は、江戸時代末期・1865年にオランダでつくられたもので、国の重要文化財に指定されています。その他、子どもから大人まで楽しめる体験学習展示、横須賀の近代歴史遺産やスチームハンマーを紹介する映像番組の上映、横須賀製鉄所の3D映像展示などがあります。

48 観音崎自然博物館 自然とふれあう生まれた博物館

東京湾集水域の「リアルな自然と生態」をテーマとして、観音崎にある海藻・季節の花々・草木・木本・磯の生物・昆虫・両生類・爬虫類などを展示しています。観覧者は、生物やその行動を見るだけでなく、香りを嗅いだり、触ったりと人間の感覚を全て使って「リアルな自然と生態」を体験できます。特にタッチピールでは海の生き物に触ることができます。さらに、希少な海岸植物や水生生物も見ることができます。ぜひ、「リアルな